

アユの生息状況調査（2023.8.24）

2023年8月25日
水産試験場

調査日 | 2023年8月24日

調査場所 | 那珂川（黒磯～烏山）

調査内容及び方法

○坪井&高木 2016.の手法に従い、

川幅2m流程100mあたりのアユの尾数¹⁾を数えました。

○透明度、巨石率²⁾、大型藻類（青ノコ）被度を測定しました。

1)友釣りによるアユの釣れ具合と相関することが知られている

2)巨石率が高い場所はアユの生息密度が高いことが知られている

調査結果

○10地点で調査を実施しました。

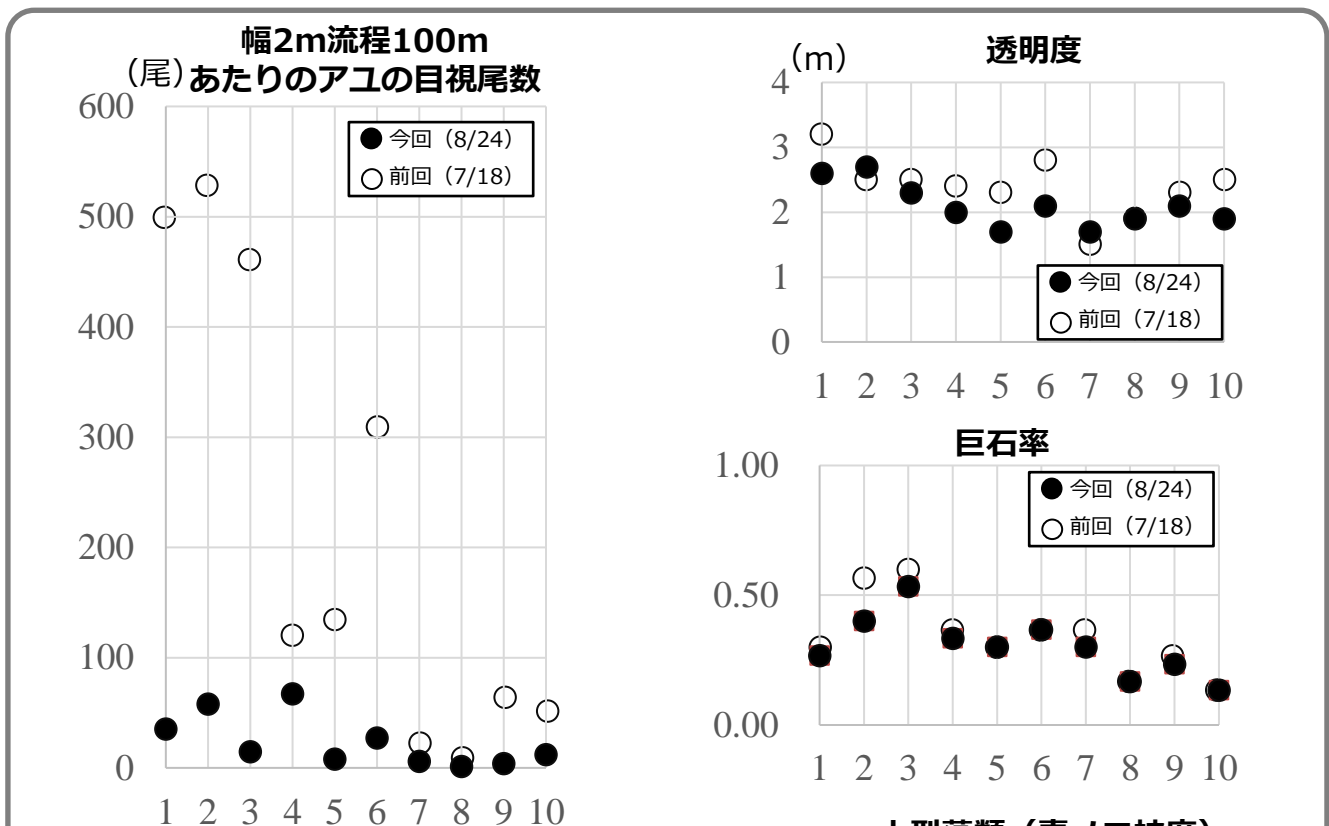


No.	地区	場所
1	黒磯	那珂川河畔公園
2	鍋掛	数ヶ室
3	寒井	矢組堰下流
4	黒羽	高岩
5	湯殿	水遊園大橋上流
6	小川	青岩
7	八溝	八溝大橋下流
8		ニコン裏
9	烏山	烏山大橋下流
10		下野大橋下流

図1 調査場所

表1 調査結果の一覧

No.	地区	場所	調査距離 (m)	目視尾数 (尾)	幅2m流程100mあたりの目視尾数 (尾)	透明度 (m)	巨石率	大型藻類 (青ノ口被度)	備考
1	黒磯	那珂川河畔公園	102	36	35	2.6	0.27	0.23	
2	鍋掛	数ヶ室	50	29	58	2.7	0.40	0.03	
3	寒井	矢組堰下流	47.5	7	15	2.3	0.53	0.34	緩流帯にはコカナダモが群生
4	黒羽	高岩	52	35	67	2	0.33	0.23	
5	湯殿	水遊園大橋上流	86.5	7	8	1.7	0.30	0.37	
6	小川	青岩	62.5	17	27	2.1	0.37	0.27	緩流帯にはコカナダモが群生
7	八溝	八溝大橋下流	64.5	4	6	1.7	0.30	0.40	
8		ニコン裏	68	1	1	1.9	0.17	0.36	水面を流れる白泡多い
9	烏山	烏山大橋下流	98	4	4	2.1	0.23	0.36	緩流帯にはコカナダモが群生
10		下野大橋下流	58	7	12	1.9	0.13	0.23	〃



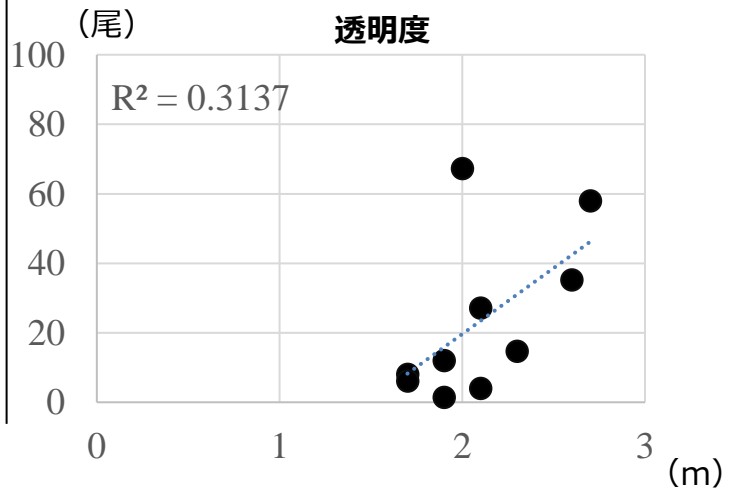
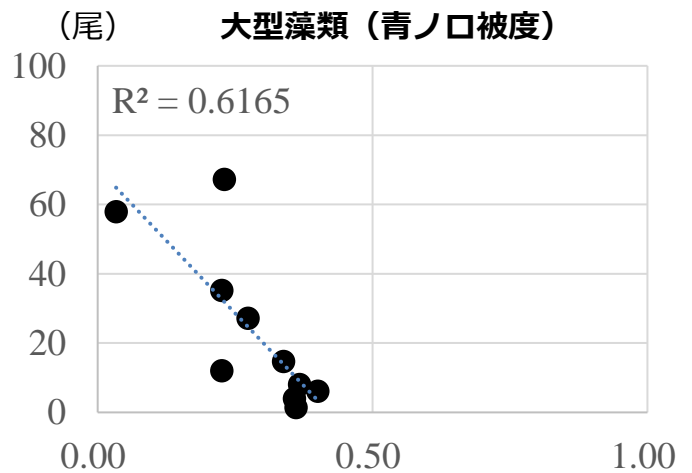
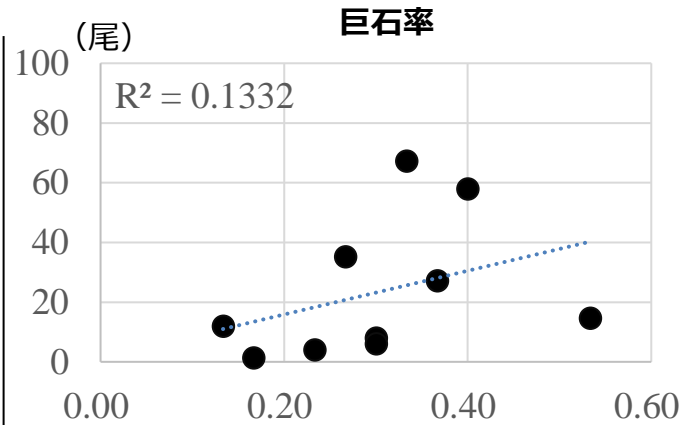
○ 前回調査 (7/18) との比較

- ・ **アユ目視尾数**
大きく減少 (平均では前回調査の17%)
上流ほど多い傾向は変わらず。
- ・ **透明度**
やや低下 (平均では前回調査の89%)
- ・ **巨石率**
ほとんど変化なし (平均では前回調査の91%)
- ・ **大型藻類**
やや減少 (平均的には前回調査の88%)。
上流部 (黒磯～黒羽) では大きく減少したが、それより下流部ではやや増加傾向。

○アユの目視尾数と環境要因の関係

- 巨石率vsアユ目視尾数**
 巨石率が高い地点ほどややアユの目視尾数が多い傾向（前回調査より傾向が弱まった）
- 大型藻類vsアユ目視尾数**
 大型藻類が多い地点ほどアユの目視尾数が少ない傾向（前回調査より傾向が強まった）
- 透明度vsアユ目視尾数**
 透明度が低い地点ほどアユの目視尾数が少ない傾向（前回調査より傾向が弱まった）

幅2m流程100mあたりのアユの目視尾数



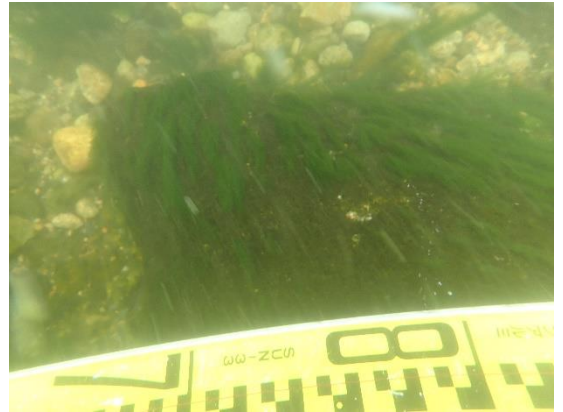
地点1
那珂川河畔
公園



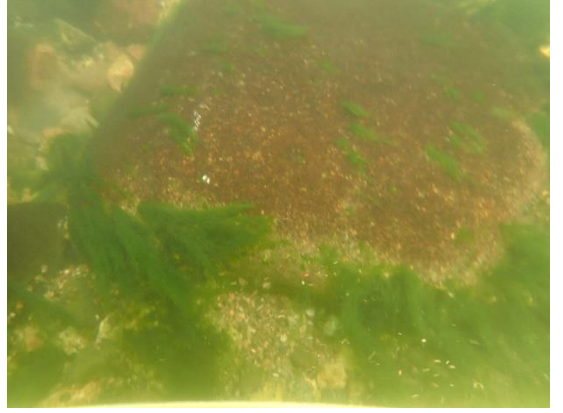
地点2
数ヶ室



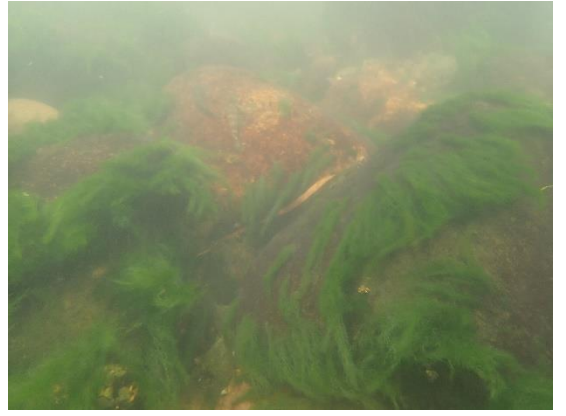
地点3
矢組堰下流



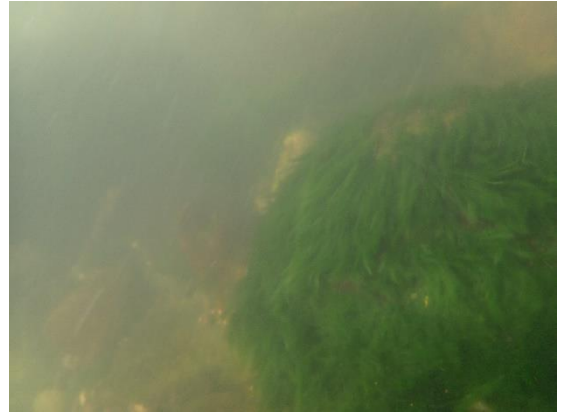
地点4
高岩



地点5
水遊園大橋
上流



地点6
青岩



地点7
八溝大橋下
流



地点8
ニコン裏



水面を流れる白泡が目立つ状況

地点9
烏山大橋下流



緩流帯には著しいコカナダモと思われる藻類の繁茂が見られる

瀬の中でも、岸よりにはコカナダモと思われる藻類が見られる

地点10
下野大橋下流

